【東広島市におけるGIGAスクール構想の目標】
～ Society 5.0 時代を生きる東広島のすべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現 ～

めざす子どもの姿

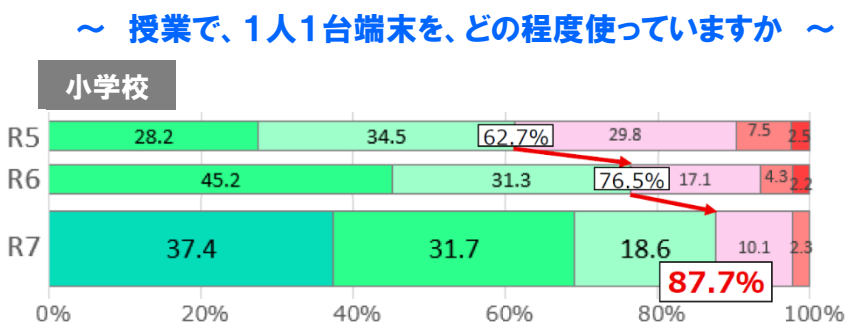
情報モラルを含む情報活用能力を身に付け、１人１台端末を日常的に活用し、各教科等での学びを深めている。

めざす教員の姿

「主体的・対話的で深い学び」の視点から、デジタル学習基盤を効果的に活用し、授業改善を進めている。

【令和10年度（第6次学校教育レベルアッププランの最終年度）の目標】 授業で１人１台端末を「ほぼ毎日」「週3回以上」活用する児童生徒の割合を100％にする

～ 授業で、１人１台端末を、どの程度使っていますか ～



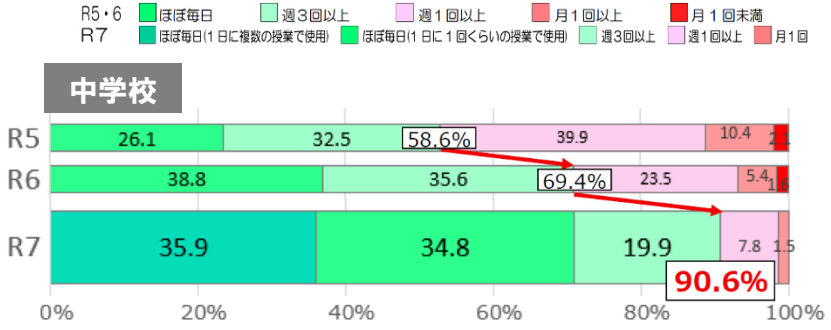
本市の現状（令和7年度の結果）

小学校 ： 87.7%

中学校 ： 90.6%

令和8年度の目標値

95%以上



【令和8年度の取組】

【GIGA スクール推進協議会（年4回）】
推進計画の進捗、年度始め及び年度更新作業など

【Let's Try GIGA 研修（年5回）】 NEW
ドリルパーク、Canva、生成AI、情報モラルなど

【ICT 支援員による ICT 活用推進研修（学校訪問型）】 ※1名増
計画サポート（2～3週間に1回）、要請サポート

【ポータルサイト（学習者用及び指導者用）の更新】
情報モラルに関する資料、オンデマンド型教材の掲載

【学習者用端末の持ち帰り】
小3以上は毎日　※長期休業は全学年

【情報教育広報紙「GIGAっつ」の配信】
各種取組や実践事例等の情報提供

【タイピング大会】
年3回（5月、9月、1月）
※英語・英文は中学校のみ

【ICT 作品コンペ】
デジタルアート、プログラミング
プレゼンテーション

【広域交流型オンライン学習】
社会科（小：8回、中：3回）、多文化共生（小：3回）

【オンライン社会見学】
エコパーク（小4）、消防署（小3）、お店（小3）

【その他の遠隔授業】 ※指定校での実施
海外、専門家、小規模校

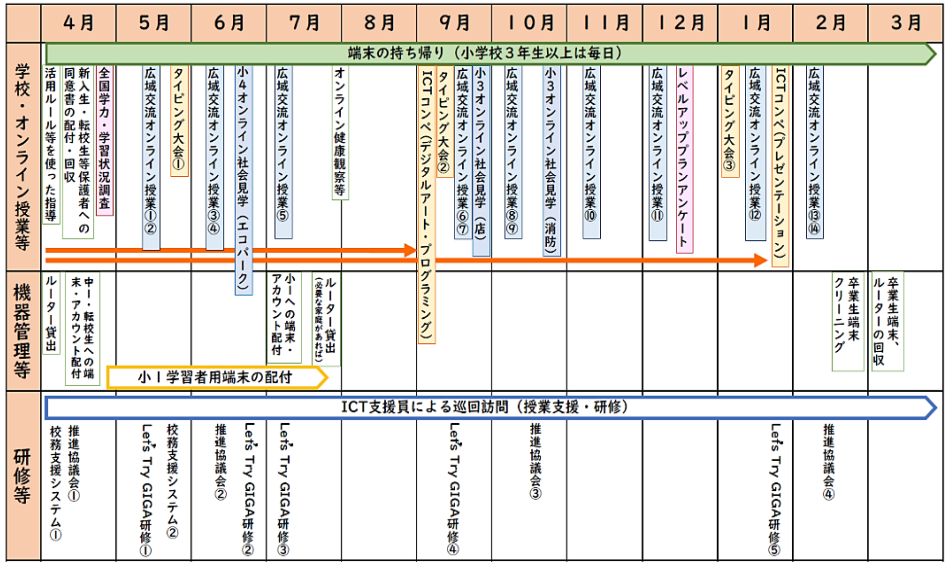
ICT 支援員
要請サポート（学校訪問型）

ポータルサイト

ICT 作品コンペ
デジタルアート部門

オンライン社会見学

【情報教育に係る系統表例】

活動	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学校
調べる	●身近なものの情報を収集する（書籍・体験の重視） ●教科書二次元コードを活用する	●検索ワードを変えながら検索サイトを活用する ●プリタニカを活用する ●引用のルールを知る	●情報の収集と検証方法を知る ●Googleフォームを活用して情報を集める ●児童用デジタル教科書を使う	●情報の妥当性や信頼性を吟味する ●Googleフォームを作成して情報を集める ●生徒用デジタル教科書を使う
記録する	●植物等の撮影をする ●写真等のファイル名を変更する	●人物等を撮影する ●名前を付けて、フォルダを作成することができる	●Googleドライブを活用する（フォルダ作成、名前変更、移動）	●Googleドライブ等を活用し、データを管理する（共有設定の管理）
表現する	●大型画面を指し示したり書き込んだりしながら表現する ●ピクチャーキッズでお絵描きをする ●デイジービックスで作品を作る ●選択式のGoogleフォームに回答する ●手書き入力やフリック入力を体験する	●大型画面にタブレット画面を映すことができる ●アプリを活用して新聞やポスター等を作る ●Googleフォームに回答する ●1分間に73字以上をローマ字入力する	●アプリを活用して表やグラフを作る ●アニメーションや画像・動画、表・グラフを活用してスライドや文書を作る ●アプリを活用してプログラミングをする ●1分間に124字以上をローマ字入力する	●1分間に175以上をローマ字入力する
つながる	●Googleクラスルームに参加し、投稿を閲覧する ●Googleミートに参加することができる	●Googleストリーム機能を活用する ●Googleクラスルームにファイルをアップロードする	●共同編集機能を活用し、スライドや文書を作る	●データの共有設定を変更し、目的に応じて共同編集をする
活用アプリ例	カメラ　ピクチャーキッズ　デイジービックス　クラスルーム　ドリルパーク	Google　PowerPoint　Canva　プリタニカ	Word　Excel　Scratch	Googleドライブ　Forms
情報モラル指導内容例	●人の作ったものを大切にする ●約束やきまりを守る ●大人と一緒に使い、危険に近づかない	●情報をやり取りする際のルールやマナーを知り、守る ●危険に出合ったときに、適切に対応する ●個人情報をもらさない ●健康のため、利用時間を決め、守る	●他人や社会への影響を考えて行動する ●情報にも自他の権利があることを知り、尊重する ●情報の破壊や流出を守る方法を知る ●契約行為の意味を知る	●情報社会における責任や義務について考え、行動する ●肖像権や著作権等を尊重する ●トラブルに遭遇した際、主体的に解決を図る ●情報の信頼性を吟味する ●ネットワークの公共性を意識して行動する

【令和8年度　情報教育に係る取組のスケジュール】